

【別 紙】

【8月26日（木）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
1	9:00～10:40	【循環型社会形成のための衣生活】 近年の衣服の消費行動は、「長く大切に着る」習慣が薄れ、大量消費による環境負荷等の課題が指摘されています。衣服の生産から廃棄までが環境問題と関連していることを解説し、循環型社会形成に向けた衣生活の在り方について考えます。	庄山 茂子 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	オンライン
2	11:00～12:40	【温湿度や光などの住環境因子による人間への生理心理的作用】 近年、猛暑日の増加に伴い、熱中症による救急搬送数も増加しています。また、人工照明や情報機器端末の普及が睡眠問題の原因の一つと言われています。このような温熱や光環境がヒトに与える影響について概説し、健康的な環境条件について考察します。	小崎 智照 准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	
3	13:40～15:20	【数理的な立場による災害時の避難行動の解析】 日本は世界の中でも自然災害が発生しやすい特性を有しており、これまでに甚大な被害が発生しています。可能な限りその被害を少なくするための対策を数理的な立場から考えます。	藤岡 薫 准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	

【8月27日（金）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
4	9:00～10:40	<p>【環境配慮行動の促進に向けたデザイン】</p> <p>地域・地球規模で発生する環境問題の影響を受け、人々の環境配慮に対する態度は高まっています。しかし、必ずしも態度と行動が一致しているとは限りません。この講義では、環境配慮行動の促進に向けたデザインについて考えます。</p>	岩崎 慎平 准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	オンライン
5	11:00～12:40	<p>【家庭からの節水・省エネ・省CO2 対策】</p> <p>我が国では家庭からのCO2 排出量を2030年までに2013年度比で4割削減を目標としています。家庭からのCO2 排出削減のために重要な節水・省エネ等の省CO2 対策について、定量的に考えていきます。</p>	豊貞 佳奈子准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	
6	13:40～15:20	<p>【PM2.5などの大気汚染物質と健康有害性】</p> <p>様々な人間活動により排出されるPM2.5などの大気汚染物質について、その発生源や特徴を解説するとともに、それらの健康への影響及び個人ができるPM2.5の脅威から身を守る方法について分かりやすく紹介します。</p>	馬 昌珍 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	
7	15:40～17:20	<p>【使用済み紙おむつのリサイクル】</p> <p>紙おむつは育児と介護の必需品とも言われ、身近な日用品のひとつですが、使用後は大量の水分を含んでいるにも関わらず、主に焼却処理されています。福岡県内の民間企業が使用済み紙おむつを有効利用する取り組みを始めており、行政の動向と共に解説します。</p>	吉村 利夫 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)	

【8月30日（月）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
8	9:00～10:40	<p>【情報環境のデザイン】</p> <p>私たちを取り巻く環境要素のひとつに「情報」があります。それは現実空間・仮想空間に関わらず、何らかの「情報媒体」を通して私たちの「脳」に届いています。この講義では、様々な情報媒体の特質を見極めるとともに、暮らしを快適にする情報環境のデザインについて考えます。</p>	井上 貢一 教授 (九州産業大学 芸術学部)	オンライン
9	11:00～12:40	<p>【再生可能エネルギー（小水力発電）と地域開発】</p> <p>今後の社会の在り方を大きく変革することとなる、温室効果ガス削減や再生可能エネルギーに関する世界的な動き、社会情勢について解説します。 また、再生可能エネルギーのひとつである小水力発電を地域の開発や活性化に活用している先進的な事例として、九州およびインドネシアの事例を紹介します。</p>	佐藤 辰郎 准教授 (九州産業大学 建築都市工学部)	
10	13:40～15:20	<p>【ビジネスデータからみる福岡市のプロスポーツ経営環境】</p> <p>福岡市内にはホークス、アビスパ、ライジングゼファという3つのプロスポーツチームがあります。その経営データを基に、福岡市という市場の経営環境と各チームの経営戦略に触れていきます。</p>	福田 拓哉 准教授 (九州産業大学 人間科学部)	
11	15:40～17:20	<p>【住み続けられるまちづくり —環境共生—】</p> <p>都市開発、そこには Blessing「天からの恵み」と Curse「災いのもと」が同時に存在します。 本講義では、都市および農村の持続的発展を考える上でのヒントを、ヒト・開発・自然環境との関わりから提供します。</p>	内田 泰三 教授 (九州産業大学 建築都市工学部)	

【8月31日（火）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
12	11:00～12:40			
13	13:40～15:20	<p>【海洋ごみ問題の現状と課題—生活者の視点からその解決策を考える】</p> <p>本講義では、近年、喫緊の課題となっている海洋ごみ問題の現状と課題について、九州・福岡の事例を中心に取り上げて考察し、生活者の視点から海洋ごみ問題の解決策を考えます。</p>	宗像 優 教授 (九州産業大学 地域共創学部)	九州産業大学 1号館 S101 番教室
14	15:40～17:20			